

令和元年度事業報告

1. 事業運営の背景

令和元年度の我が国経済は、令和元年12月18日に閣議了解された「令和2年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」において、

「海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復している。令和元年10月に実施した消費税率の引上げに当たっては、経済の回復基調に影響を及ぼさないといった観点から、軽減税率制度や臨時・特別の措置など各種の対応策を実施している。

今後についても、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、消費税率引上げ後の経済動向を引き続き注視するとともに、台風等の被害からの復旧・復興の取組を更に加速し、あわせて米中貿易摩擦など海外発の下方リスクによる悪影響に備える必要がある。」とされたところです。

しかしながら、令和元年12月8日に、中国湖北省武漢市において新型コロナウイルスによる肺炎を発症した最初の患者が発生し、我が国においても、神奈川県内で武漢市に滞在歴がある肺炎の患者を国立感染症研究所で検査したところ、令和2年1月15日に新型コロナウイルスに感染が国内で初めて確認されました。

そして、4月9日に開かれた日銀春の支店長会議では、全国9地域の景気情勢をまとめた地域経済報告（さくらリポート）を公表し、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や店舗休業などが消費や生産を直撃し、全地域の総括判断を前回1月から下方修正し、リーマン・ショック後の平成21年1月調査以来11年3カ月ぶりに、全地域の景気判断を引き下げました。

新型コロナによる経済収縮が全国に波及しており、日銀は「先行きの下振れリスクを含めて影響をしっかりと見ていく必要がある」と指摘しました。

こうした中において、日本はもちろん世界の基幹産業として発展し続けてきた自動車業界は、自動運転などに象徴される技術革新によって100年に1度の大変革期の真っ只中にあり、この影響は自動車産業の構造や流通のあり方、ユーザーの意識などにも及んでいます。

令和元年度の登録車と軽自動車を含めた新車販売台数は、前年度比4・2%減の503万8727台と4年ぶりに前年度実績を下回りました。消費税引き上げや大型台風被害による10月以降の落ち込みが響いたものの、9月までの販売台数が増税前の緩やかな駆け込みによって堅調に推移し、500万台の大台には4年連続で到達しました。

一方、新型コロナウイルスの影響が出始めており、受注残の消化によって3月までの登録、届出台数では表面化しなかったものの、「外出自粛で店舗への来場者が減っているとの声が出ている」（自販連）と足元の受注活動が停滞しており、4月以降は影響が本格化しそうです。

2. 事業運営の概要

令和元年度は、平成31年3月6日の理事会で承認された事業運営の基本方針と重点事項に基づいて、①関係機関との連携の維持強化、②関係団体との連絡協体制の維持、③令和元年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと関係機関への提出、④自動車の安全確保と環境保全を中心とした公益事業の実施、並びに、⑤公益法人制度改革による円滑な組織運営の保持などに努めてまいりました。

特に、実施事業（公益事業）の自動車の安全の確保では、「春の全国交通安全運動」の初日に、会員3団体（自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会）と合同で、交通安全意識の高揚と夜間の交通事故防止を図るための「蓄光反射リストバンド」を富山県へ贈呈するとともに、上部団体等からの要請に応じて、関係機関並びに関係団体等とともに、「後席シートベルトの着用」や「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」に関する啓発活動を行いました。

また、環境の保全では、地球温暖化問題がますます顕在化する中、富山県のエコドライブ推進運動に参画し、昨年に引き続き、リーフレットや当所のキャラクター「エコマメくん」のステッカー等により、啓発活動を主とした「マメにエコドライブしよう」キャンペーンを展開し、自動車関係団体職員や広く県民を対象に、エコドライブの推進を図り、10月26日には、エコドライブの適正な知識と技術を学ぶ「エコライフ車塾」を開催しました。

一方、国内の経済情勢は、「雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いていたところですが、令和2年に入り、新型コロナウイルスの影響による中国経済の減速や情報関連財の調整の影響を受け、輸出や生産の一部に弱さがみられ、多くの日本企業がグローバルなサプライチェーンを展開している中で、通商問題や海外経済の動向が日本経済に与える影響には、十分注視する必要がある」との指摘がされたところです。

県内の令和元年度の新車販売台数（軽自動車含む）につきましては、消費増税の影響などにより令和元年10月以降対前年同月比で6ヶ月連続の減少となり、暦年で前年比6・6%、3,613台のマイナスとなりました。

一方で、当会議所における今年度の手数料収入は、令和元年度の税制改正により、10月から「自動車取得税」が廃止され「環境性能割」が導入されたことで、県税証紙の売捌額が半減したこと。さらに、平成30年10月から富山県において導入が開始された新車新規登録における「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）」と、平成29年4月からの登録車、並びに、令和元年5月からの軽自動車の継続検査のOSS申請が進行している（令和2年3月実績で、新車新規19.8%、登録車継続42.9%、軽自動車継続29.1%）こともあり、前年度比で11.1%（約735万円）の減少となっています。

従いまして、このような厳しい財務状況の中、今年度予算の諸経費の節減目標に沿

って、全体として事業費の一層の節減に努めるとともに、業務の効率化を図り、窓口相談利用者の利便の向上に積極的に対応してまいりました。

(1) 関係機関との連携の維持強化

北陸信越運輸局富山運輸支局をはじめ富山県及び同自動車税センター、独立行政法人自動車技術総合機構北陸信越検査部富山事務所、軽自動車検査協会富山事務所などと打合せ会議等を開催して、関係機関との連携の維持強化を図るとともに、定期的な連絡会議への参加や、担当部署などと日常的で緊密な連絡の保持に努め、行政の円滑な推進に寄与しました。

(2) 関係団体との連絡協調体制の維持

関係団体の事務局代表者会議を定期的で開催し、情報の交換、関係機関との連携のあり方、業界全体として取り組むべき事業の計画作成や実施などについての連絡協調体制の維持を図り、事業の円滑かつ効率的な運営と自動車ユーザー及び窓口利用者の利便の向上に努めました。

(3) 自動車の安全確保と環境保全に関する公益事業の拡充（詳細別掲）

関係機関・関係団体・会員等と連携を図り、「春の全国交通安全運動」「夏の交通安全県民運動」「秋の全国交通安全運動」への参加はもとより、公益事業として「全席シートベルト着用の推進」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」などの交通安全活動や自動車点検整備推進活動、不正改造車両追放運動、街頭検査活動へ積極的に参加しました。

また、環境とやま県民会議に参画し、「エコドライブ推進大運動」、「3R運動」に参加するとともに、国民運動「COOL CHOICE」に参加し、これらの普及・推進など環境保全に関する啓発活動の展開に努めました。

(4) 令和2年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと提出（詳細別掲）

8月23日開催の合同委員会（法税制委員会・公益事業委員会・情報委員会）において、自動車関係諸税の簡素化・軽減、自動車に特化した過度の負担となる環境対策の税の導入反対、道路整備計画の策定とその実現、環境改善に資するインセンティブ（減税及び助成支援）の拡充など11の要望事項をとりまとめ、関係機関へ提出しました。

(5) 施設見学会の実施

8月23日開催の合同委員会（法税制・公益事業・情報委員会）終了後、引き続き、「能作の鋳製品」として富山県推奨とやまブランドに認定されている、高岡市にある株式会社能作の本社工場において、高岡で400年にわたって受け継がれてきた鋳造の作業工程を、ガイドの方にご案内いただき、意見交換等を行いました。

(6) 研修会（会員、関係団体役職員、一般向け）の開催

地球温暖化の最大の原因である二酸化炭素排出の約10%を占める自家用自動車からの減少を図るため、誰もが手軽に取り組むことのできる「エコドライブ」のより一層の推進を図ることをめざして、10月26日に富山県運転教育センターにおいて「エコライフ車塾」を開催し、17名の方に参加いただきました。

(7) 交通事故被害者の援護等

交通事故被害者を援護するため、例年通り独立行政法人自動車事故対策機構富山支所を通じて、公益財団法人交通遺児等育成基金に対して、20万円を贈呈しました。

3. 窓口取扱い業務

今年度の窓口取扱い業務にかかる、自動車検査登録印紙、自動車審査証紙、富山県証紙、自動車重量税印紙の購入額は、自動車税制の改正による富山県証紙の減少や、新車新規・継続検査のワンストップサービス（OSS）への移行の増大などにより、すべての業務で減少となりました。

取扱い業務	元年度売上高（千円）	30年度売上高（千円）	前年度比（%）
検査登録印紙 審査証紙	383,225	443,024	86.5
富山県税証紙	1,892,037	2,459,882	76.9
重量税印紙	5,793,945	6,763,162	85.7

4. 庶務事項

令和元年度中、会員の入退会はなく、年度末現在30会員です。

役員数は、17名で定数より4名減員です。

事務局の役職員数は、前年度末と同数の12名です。

(1) 会員数（令和2年3月31日現在：会員名簿別掲）

会 員 30名

(2) 会員代表者・役職の変更

会 員 名	新	旧	変更月日
富山県自動車車体整備 協同組合	理事長 橋本 雅雄	理事長 岡部 雅弘	令和元年 5.31
富山トヨペット 株式会社	代表取締役社長 品川 祐一郎	代表取締役社長 木村 正人	令和2年 1. 1

(3) 役員数 (令和2年3月31日現在：役員名簿別掲)

理事 17名 (期中増減員なし、辞任に伴い2名補充)

監事 3名 (期中異動なし)

(4) 事務局 (令和2年3月31日現在)

専務理事 1名

常務理事 0名

職員 11名 (うち、継続雇用による嘱託など4名)

(5) 登記事項

令和元年7月1日 「役員に関する事項」の登記 (辞任に伴う役員選任の変更)

(6) 報告事項 (富山県への報告)

令和元年6月21日 「平成30年度公益目的支出計画実施報告書」提出

5. 総会・理事会・監事会の開催等

(1) 定時総会

日時 令和元年6月20日 (木) 午前11時から

場所 富山市桜橋通り2-28

ホテルグランテラス富山 会議室

会員総数 30名

出席会員数 30名

委任状提出者 19名

議題

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告について

第3号議案 役員の新補充選任について

第4号議案 令和元年度借入金の最高限度額の承認について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

(2) 理事会

① 第1回理事会

日時 令和元年6月7日 (金) 午前11時から

場所 富山市桜橋通り2-28

ホテルグランテラス富山 会議室

理事総数 17名

出席理事数 10名

議 題

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について
 - 第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告について
 - 第3号議案 役員の補充選任について
 - 第4号議案 常勤役員の退任に伴う特別功労金について
 - 第5号議案 令和元年度借入金の最高限度額の承認について
 - 第6号議案 令和元年度定時総会の日程及び提出議案について
- 以上、いずれも原案どおり承認されました。

② 第2回理事会

日 時 令和元年6月20日（木）午前11時45分から
場 所 富山市桜橋通り2-28
ホテルグランテラス富山 会議室

理事総数 17名

出席理事数 10名

議 題

- 第1号議案 専務理事（業務執行理事）の互選について
専務理事 糸 岡 正 明
- 以上の役員が選任（互選）されました。

(3) 監事会

日 時 令和元年5月14日（火）午前10時30分から
場 所 富山市新庄町字馬場24-2
富山県自動車会館 会議所役員室

監事総数 3名

出席監事数 3名

議 題

- ・平成30年度の業務及び会計並びに公益目的支出計画の実施の状況を明らかにする書類の監査について
- 以上、各事項とも正確かつ適正なことが確認されました。

6. 委員会の開催

(1) 法税制・公益事業・情報合同委員会及び施設見学会

日 時 令和元年8月22日（木）午前10時30分～午後2時30分
場 所 合同委員会＝富山県自動車会館 研修室
施設見学会＝株式会社 能 作

[第一部] 合同委員会

議 題

- (1) 平成31年度国・県予算に対する要望事項の回答について
- (2) 令和2年度国・県予算に対する要望事項について
- (3) 令和元年度公益事業等実施計画について
- (4) 登録OSSについて
- (5) 道路運送車両法の改正等について
- (6) その他

「自動車の税が大きく変わります」



[第二部] 施設見学会

- ・株式会社 能 作
- 高岡市オフィスパーク8-1



7. 陳情・要望活動

(1) 令和2年度国・県予算に対する要望書の提出

8月22日開催の合同（法税制・公益事業・情報）委員会において、承認された「令和2年度国・県予算に対する要望書」を国及び県の関係機関等へ提出しました。

要望内容及び提出先につきましては、8ページから16ページの通りです。

令和 2 年度

国・県予算に対する要望書

令和 元 年 8 月 2 3 日

一般社団法人富山県自動車会議所

会 長 桑 名 博 勝

一般社団法人富山県自動車会議所は、運輸業、自動車の販売・整備、自家用自動車の使用等にかかる別紙の諸団体、並びに企業によって構成されています。
(別紙として末尾に会員名簿を添付)

はじめに

平素は、富山県における自動車業界の発展に、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の国内の経済情勢は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復していますが、先行きについては、当面、弱さが残る中で、雇用・所得環境の改善が続き、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響、特に中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされているところです。

自動車業界におきましては、令和元年上半期の国内新車販売台数（軽自動車含む）が、前年同期比0.8%増となったものの、平成5年に消費税率が8%に引き上げられる前の時期に比べ伸び悩んでおり、今年10月の10%への増税を前にした駆け込み需要は見られない状況となっています。同時期の富山県内の新車販売台数は、前年同期比で登録自動車が1.9%、軽自動車が1.6%それぞれ減少しており、7月の前年同月比も3.6%の減少となっており、今後も少子高齢化・人口減少化が進む中で、絶対的な需要の減少が避けられない難しい状況になっております。

バス、タクシーなどの公共交通機関につきましては、北陸新幹線開業により一部利用者増がありますが、根本的な利用者減少には歯止めがかからず、トラックは、経済情勢の悪化や企業の海外進出などにより輸送量が減少し、経営努力にも拘わらず大変厳しい状況が続いております。また、自動車整備業は、平成30年度調査では、総整備売上高では増加したものの全国の事業場数の減少傾向が続くなど、自動車業界全体として需要が漸減状況で推移し、さらに、自動車運転者や自動車整備士などの労働力の確保も難しい環境となっており、さらに厳しさが加速するものと推測しているところです。

自動車業界の社会的な責務として、安全の確保や環境の保全などその取り組むべき課題は山積しており、10月に予定される消費税率の10%引き上げと、それに伴う税制改正において、自動車関係諸税の簡素化・軽減に向けた抜本的な見直しに期待しているところであります。

このような状況の中で、令和2年度の国・県予算編成と税制改正にあたりまして、豊かで、安全で、環境に優しい「くるま社会」の実現のため、当自動車会議所として別紙のとおり要望いたしますので、その実現に向けてご尽力いただきますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 加重で複雑な自動車関係諸税の負担軽減・簡素化

車体課税につきましては、平成31年度の税制改正において、消費税率10%引上げに伴うユーザー負担の軽減や需要平準化等を目的に、本年10月以降初回新規登録を受けた自家用乗用車（登録車）の自動車税種別割の税率を、年間1,000円～4,500円引下げすること。また、10%引上げ時に、自動車取得税を廃止し、自動車税・軽自動車税に環境性能割を導入するとされました。

一方、自動車税及び軽自動車税のグリーン化特例の軽減措置が令和3年4月以降電気自動車等のみに限定。また、自動車税種別割の重課措置の2年間延長。自動車重量税のエコカー減税の軽減率が縮小、及び、免税対象の絞り込みがされるなど、現状として、車体課税の見直しは、自動車ユーザーや関係者が期待していたものとはいえない状況となっています。

自動車は9種類の税が課せられるなど複雑な税体系の中で、自動車ユーザーだけが特別の負担を強いられる状況には変わりなく、そのうえ、政府は、経済再生や財政再建が急務となっていることなどから、今後、見直される税制改正においても、その負担は変わらず同様な状況になるのではと懸念しております。

このようなことは「税負担の公平」の原則に反し、到底納得が得られるものでなく、また一世帯あたりの自動車保有台数は、交通アクセス等に恵まれない地方ほど多く、より重い税負担を負うことになり、都市と地方の格差拡大を助長するものがあります。

自動車関係諸税については、平成31年度与党税制改正大綱の検討事項において、環境負荷の低減等を踏まえた自動車関係諸税の中長期的な検討を行うとして、「自動車関係諸税については、技術革新や保有から利用への変化等の自動車を取り巻く環境変化の動向、環境負荷の低減に対する要請の高まり等を踏まえつつ、国・地方を通じた財源を安定的に確保していくことを前提に、その課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う。」と明記されたところです。

引き続き、道路特定財源の一般財源化により、課税根拠を失った自動車関係諸税について、「当分の間」として上乘せされている税率（旧暫定税率）を速やかに廃止するとともに、車体課税について、軽自動車の税率を基準とする税体系にするなど、抜本的な見直しを行って簡素化・負担軽減を図られるよう要望します。

また、次の個別要望事項についても、具体的な対応を図られるよう重ねて要望します。

- (1) 自動車税、軽自動車税のグリーン化特例の特例基準を緩和するとともに、適用期間を延長されたい。

- (2) エコカー減税、並びに、自動車重量税について、燃費基準を緩和するとともに、適用期間を延長されたい。
- (3) 軽油引取税の旧暫定税率を廃止されたい。
- (4) 自動車重量税を道路特定財源化されたい。
- (5) 自動車に特化した、過度の負担増となるような地球温暖化対策の税の導入反対
- (6) 自動車税における営自格差の見直し反対

2. 環境改善等に資するインセンティブ（減税及び助成支援）の拡充

- (1) 国が「セーフティ・サポートカーS（サポカーS）」として普及啓発している、先進的な安全装備を装着した一定性能を持つ自動車について、購入時の補助金やサポカー保有による減税など、その普及のための財政措置を創設されたい。
- (2) 環境に優れた自動車の普及は、地球温暖化防止と大気汚染防止の観点から重要であり、現在、「クリーンエネルギー自動車等導入費補助制度」があるものの、この制度は未だ対象車種が少ないなど環境整備が整っていないことから、導入実績が少なく制度の効果が薄いので、環境に優れた自動車（新車・中古車、事業用・自家用問わず）の購入に係る支援策を、国レベルのほか県レベルでも策定し、実施されたい。
- (3) 高齢化社会に向けたバリアフリー対応車（ノンステップバス・リフト付きバス）及び最新燃費基準達成車等、環境に優しいバスの導入に向けて、「低公害バス導入促進事業補助金」の拡充を図るとともに、新たな支援策の策定をされたい。
- (4) 地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業による、燃料電池・電気・天然ガス等のタクシー・バス・トラックの普及に係る補助金を拡充されたい。
- (5) 石油石炭税の「地球温暖化対策のための課税の特例」について、産業や国民生活に密接不可分な公共性の高い事業用バス、トラックに使用される軽油についてもこの措置が講じられるよう拡充を図られたい。

3. 軽自動車に係る税の大幅な負担増反対

軽自動車及び二輪車については、平成27年に軽自動車税の増税が実施されたところであるが、比較的長く所有するユーザーも多く、旧車を好んで所有するユーザーもいるのが実体である。軽自動車の環境性能割は、一部を除き実質増税となる恐れもあり、特に高齢者は、車両の買い換えをせず長期保有となって重課が適用される。

排気量が小さい軽自動車・二輪車は環境に与える影響も小さく、これ以上、ユーザーの負担増となる更なる増税は行わないようにされたい。

4. 道路整備計画の策定とその実現

国では平成27年度を初年度とする5年間の「第4次社会資本整備重点計画」を策定し、これにより富山県では「社会資本総合整備計画」を策定して、社会資本の整備が進められているところですが、なかでも道路は、国民生活や産業・経済社会を支える最も基礎的な社会資本であり、「豊かで活力ある地域社会」と「セーフティーでクリーンな車社会」の実現のためにも、欠かせないものであります。

従って、安全で快適な道路環境の整備と災害・事故・医療の緊急非常事態等に十分対応できる信頼性の高い道路ネットワークの整備などのため、次の道路整備について、その実現を図られるよう要望します。

- (1) 県内の一般国道8号線（バイパス含む）の全区間4車線化
- (2) 東海北陸自動車道暫定2車線区間（着工区間含む）の早期4車線化と安全性に優れた中央分離帯の設置等安全対策の推進
- (3) 能越自動車道（高規格幹線道路）の国による管理の一元化と通行料金無料化の推進
- (4) 県内道路全般の歩道や自転車レーンの設置並びに拡幅と消雪装置の拡充
- (5) 県内主要地方道路の交差点における通行区分帯（右折・左折）の拡充と整備
- (6) 県内の老朽化が進む道路施設の長寿命化のための計画的な整備
- (7) 富山県と長野県を直結する「北アルプス横断道路」の整備

5. 富山県地域交通ビジョンの構想実現

富山県では、平成28年3月に策定した地域交通ビジョンに基づき、県民の日常生活を支える総合的な地域公共交通体系の構築に向けて取り組みが進められており、北陸新幹線開業により、乗車人員は開業前の3倍近い水準が続き、県内観光地の入り込み客数が増加し、地域交通の利用者も開業前に比べ増加しているところです。

本ビジョンの構想実現に向けて、次の施策等への必要な財源の大幅な増額等を図られるよう要望します。

- (1) 生活交通バス路線の維持確保と活性化、及び、二次交通整備の取り組みに関する支援
- (2) 繁華街等におけるタクシーベイの設置

大都市圏と違い、地方、特に富山県においては流し営業が成り立たない風土・環境にあり、営業所あるいは駅や病院における待機営業として成り立っている現状から、街中ではタクシーが拾えない状況にあります。

北陸新幹線の開業や県の観光政策により来県者が増加している中で、タクシーベイの設置がないことから、来県者から「タクシーが拾えない」「どこでタクシーに乗ればよいか分からず不便である」といった指摘が多く聞かれるところです。

観光振興を図る上でも、こうした来県者や利用者の利便を図る上で、人出の多い繁華街や観光施設等にタクシーベイの設置を図られたい。

6. 事故破損車両の修復後の検査制度の導入等

(1) 交通事故等により破損した自動車には、車体のねじれ、曲がりを矯正するなど大規模な整備を必要とするものがあり、車体整備基準や事業場等施設基準の確立を図るためにも、道路運送車両法第78条の一部を改正し、自動車車体整備事業の認証制度を創設されたい。

また一定規模以上破損した自動車の安全の確保を図る観点から、事故破損車両の修復後の検査制度を導入されたい。

(2) 自動車車体整備士による修復を行った車両については、「車体修理記録簿」と「修理保証書」を発行して、修理品質の安全確保を担保する制度の確立と普及を図られたい。

7. 自転車保険の推進（義務規定とする）

平成31年3月に自転車安全利用の推進として、「富山県自転車活用推進条例」が制定され、推進事項の中に、「自転車損害賠償保険等の周知と加入の促進」とあり、保険加入については努力義務規定とされています。

自転車による事故は全国的にも多く、高額な賠償金の支払いを命じられる判決も見られ、都道府県によっては義務規定を設け、あるいは自治体が強制的に加入されている自治体もあります。

現在、富山県においては、自動車事故同様、自転車事故も減少傾向にあるというものの、自動車事故であれば「自動車損害賠償責任保険」により一定程度の基本補償が受けられますが、自転車事故の場合自動車と違って強制保険がないために、同じ交通事故であっても被害者救済されないケースがあります。

自転車保険の加入率は全国平均で56%、富山県は34.5%で全国46位であります。加入率が一番高いのは、平成27年に全国で最初に義務化した兵庫県で、加入率は71.5%であります。

富山県は「住みよいまちづくり」の観点からも、被害者本人、被害者家族が事故

後も経済的に安心して暮らせるために、努力目標ではなく加入義務にしなければならないと考えますので、義務規定にさせていただきたいと要望いたします。

(参考) 既に義務規定となっている都道府県

- ①兵庫県 平成27年10月1日から
 - ②大阪府 平成28年7月1日から
 - ③滋賀県 平成28年10月1日から
 - ④鹿児島県 平成29年10月1日から
 - ⑤京都府 平成30年4月1日から
 - ⑥埼玉県 平成30年4月1日から
- (長野県 令和元年10月1日から)

8. 安全・安心で豊かな社会作り、ユニバーサル社会の実現

富山県においては、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」の制定に伴い、富山県民福祉条例施行規則を一部改正し、平成20年10月1日から施工されているところです。

すべての人が暮らしやすい社会の実現に向け、社会資本の整備と交通の整備にユニバーサルデザイン「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」の考え方を踏まえ、円滑な移動と円滑な施設利用を総合的に推進するため、同法により、各市町村が基本構想を策定し、関係者が一体となって取り組むことになっています。県内では計画策定がなされている市町村が、平成31年3月末で2市（魚津市、射水市）に留まっており、特に、直面しつつある少子高齢化社会や人口減少社会においては、公共輸送機関を核とした施設整備を図り、バリアフリーを促進することは喫緊の課題であります。未計画の市町村に対して策定するよう適切に指導されるとともに、取り組む関係者への支援措置を充実されたい。

9. 自動車保有関係手続きのOSS導入にかかる支援措置

自動車の保有関係手続きを一括して行うワンストップサービスシステム（OSS）について、国土交通省では、平成29年4月から全国で継続検査のOSSを実施し、富山県においても平成30年10月より登録手続きのOSSが実施されているところです。

同システムの導入は、自動車重量税印紙、自動車検査登録印紙、県税証紙等の売りさばきの大幅な減少となり、当然、同印紙の取扱手数料の減少ともなります。

一方、同システム導入後も、現在と同様、個人ユーザー等窓口での売りさばきは必要であり、現行手数料等では窓口サービスが維持できなくなります。

従いまして、取扱っている関係印紙及び証紙の売りさばき手数料等の大幅な引上げを図るとともに、自動車関係の中核かつ総合団体としての自動車会議所の機能維持と職員の雇用確保のため、自動車関係税の収納業務の当所への委託等の拡大を要望します。

10. 自家用自動車のエコドライブの普及啓発

エコドライブに対する認識は浸透しつつあり、実践にあたってはバス、タクシー、トラックの営業用自動車につきましては、着実に取り組みがなされておりますが、マイカーにつきましては、あまり実践がなされていない状況にあります。

現在、富山県では推進運動がなされておりますが、環境・安全・経費削減と大変よい取り組みでありますので、県民に対する継続的な啓発活動とともに、県民が容易に取り組むことができる環境整備（道路環境、交通環境、オーソライズ、インセンティブなど）を図られたい。

11. 「面的な低炭素地域づくり」を進めるための環境整備

温室効果ガスの削減は、生命に関わる喫緊の課題として、ハード面、ソフト面において諸種の取り組みがなされているところですが、その一つとして「面的な低炭素地域づくり」の実現が有効な手段として考えられており、例えば、燃料電池車・電気自動車など次世代自動車の普及や、充填・充電施設などのインフラ整備は、広域的かつ合理的に整えることが重要であるため、国・県・市町村の行政、民間など関係者が一堂に会して、情報を共有し、意見交換などができる場を県レベル、又は市町村レベルで設置するとともに、「面的な低炭素地域づくり」が容易に取り組める支援策などの環境整備を図られたい。

以 上

• 要望書提出先

自由民主党富山県支部連合会政務調査会長	藤井 裕久 殿
北陸信越運輸局長	板崎 龍介 殿
北陸信越運輸局富山運輸支局長	広瀬 道弘 殿
富山税務署長	杉本 吉宣 殿
富山河川国道事務所長	石井 宏幸 殿
富山県知事	石井 隆一 殿
富山県議会議長	中川 忠昭 殿
富山県警察本部長	大原 光博 殿
中日本高速道路株式会社金沢支社 富山保全・サービスセンター所長	北村 暢彦 殿

• 要望書提出日

令和元年8月24日

8. 公益事業活動

(1) 交通安全活動

北陸信越運輸局富山運輸支局の、富山県自動車点検整備推進協議会、不正改造車両追放連絡協議会、富山県の富山県交通対策協議会及び同幹事会、富山県交通安全チャレンジ1・2・3運動実行委員会、富山県高速道路交通安全協議会等の一員として、交通安全計画の推進とともに、関係団体と連携して新聞、リーフレットなどによる啓発活動を実施して、交通安全の確保に努めました。

また、「マナーを守って安全運転」のチラシをはじめ、多発している高齢者の事故などを抑止するため、「ご近所こそ、油断大敵」のチラシ及びポスターを配布しました。

①「交通安全運動」期間中の活動

「春の全国交通安全運動」、「夏の交通安全県民運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」、「秋の全国交通安全運動」等の期間を定めた運動とともに、「交通安全県民の日」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」等の年間を通した運動のポスター、リーフレット等の関係団体への配布、会議所窓口における掲示、配布などの啓発活動を実施しました。

②交通安全啓発用品の贈呈

「春の全国交通安全運動」の初日（5月10日）に、富山県庁前広場で行われた特別行事において、会員3団体（自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会）と合同で、交通安全意識の高揚と夜間の交通事故防止を図るための蓄光反射リストバンド3,200個を富山県へ贈呈しました。



③自動車点検整備推進活動

夏と秋の「全国交通安全運動」期間中、7月24日北陸自動車道上り線の有磯海サービスエリア、及び、9月26日北陸自動車道下り線の小矢部川サービスエリアにおいて、それぞれ富山県自動車点検整備推進協議会の一員として、自動車点検整備推進活動に参加し、点検整備の重要性等についての普及啓発に努めました。



(2) 環境保全活動

北陸信越運輸局富山運輸支局の「富山県低公害車導入促進協議会」、富山県の「環境とやま県民会議」、「エコドライブとやま推進協議会」、「富山県環境審議会地球温暖化対策小委員会」、「富山県地球温暖化防止活動関係者会議」、「とやま環境フェア2019実行委員会」等の一員として活動するとともに、環境ポスターの掲示、リーフレット等の配布などを行い、環境保全に関する普及啓発に努めました。

①エコドライブ運動

富山県の後援を得て、エコドライブの普及啓発のための、「マメにエコドライブしよう」、「マメにエコドライブしています」のマグネット式ステッカー、啓発用グッズとしてのキャラクター「エコマメくん」のエコバックなどを活用して、通年の「マメにエコドライブしよう」キャンペーンを展開するとともに、富山県が実施する「エコドライブ宣言運動」の普及啓発に努めました。



②「エコライフ車塾」の開催

自動車関係団体及び法人会員の職員のほか一般公募による方々を対象とし、地球温暖化とエコドライブの適正な知識と技術を学ぶ「エコライフ車塾」を11月のエコドライブ推進月間に先がけ、富山県運転教育センターにて、10月26日（土）に開催しました。

実施にあたりましては、北陸信越運輸局富山運輸支局、富山県、富山県警察本部から後援を頂き、一般社団法人日本自動車連盟富山支部のご協力を得て行いました。



(3) その他の活動

①「とやま環境フェア2019」への出展

富山県低公害車導入促進協議会のもと、10月5日（土）、6日（日）の両日、富山市友杉の富山産業展示館（テクノホール）において開催された「とやま環境フェア2019」に出展し、「次世代自動車の展示」として、トヨタの「ミライ」（FCV）、ホンダの「クラリティ」（FCV）、日産の「リーフ」（EV）、三菱の「アウトランダー」（PHEV）の展示、エコドライブの意識調査などを実施し、エコカーの導入促進、エコドライブの推進などの啓発を行いました。



②「安全なまちづくりパートナーシップ事業」の推進

富山県が推し進める「安全なまちづくりパートナーシップ事業」について、当事業を紹介するための「のぼり旗」を窓口に設置し、窓口来客者に啓発するとともに、警察署や防犯協会などから発出されている防犯情報等により、自動車関係団体及び職員に対し、防犯意識の高揚を図りました。

また、郵便局と連携し、かもめーる「暑中・残暑見舞はがき」の活用により、「交通事故防止啓発はがき」、及び、冬は年賀はがきによる「特殊詐欺防止の注意喚起」を目的に意識啓発を行いました。

③「自動車なんでも無料相談」の開催

富山県自動車点検整備推進協議会をはじめ、自動車関係団体、関係機関の協力のもと、自動車なんでも無料相談、自動車点検整備の推進、エコドライブの推進など、広く県民を対象とした啓発等を行うイベント「自動車なんでも無料相談」については、10月13日（日）富山市新庄町の北陸信越運輸局富山運輸支局の構内にて開催を予定していましたが、台風19号の影響により中止となりました。

9. 関係団体事務局代表者会議の開催（年6回開催）

(1) 日 時 平成31年 4月 5日（金）午前11時から

場 所 富山県自動車会館 研修室

議 題

- ① 関係団体事務局代表の変更について
- ② 平成31年4月1日付け人事異動について
- ③ 平成31年「春の全国交通安全運動」及び「みんなですすめる交通安全県民運動」について
- ④ 健康増進法の一部改正する法律の施行に伴う喫煙場所の取り扱いについて
- ⑤ 平成31年度自動車関係功労者表彰候補者の推薦について
- ⑥ 平成31年度街頭検査計画の策定について
- ⑦ 平成30年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議に係る年度末繁忙対策等の結果について
- ⑧ 平成31年3月の富山県新車新規登録台数等について
- ⑨ 平成31年3月の富山県検査関係業務量について
- ⑩ 平成31年度役員会・通常総会等の開催予定について
- ⑪ 平成31年度事務局代表者会議（定例会）の開催月等について
- ⑫ 行事予定について
- ⑬ その他

(1)貸切バス会社の安全性を検索できるサイトの開設について

(2) 日 時 令和 元年 5月10日（金）午前11時から

場 所 富山県自動車会館 研修室

議 題

- ① 令和元年北陸信越運輸局長表彰式の予定について
- ② 「不正改造車を排除する運動」への積極的な取り組みについて
- ③ 令和元年度富山県「交通安全チャレンジ1・2・3運動」の実施について
- ④ 経済センサスー基礎調査の実施について
- ⑤ 第37回「自動車なんでも無料相談」の実施について
- ⑥ 富山県自動車関係団体役職員録（令和元年度版）の作成について
- ⑦ 関係団体の役員（事務局役職員含む）変更について
- ⑧ 平成31年4月の富山県新車新規登録台数等について
- ⑨ 平成31年4月の富山県検査関係業務量について
- ⑩ 令和元年度役員会・通常総会等の開催予定(最終まとめ)について
- ⑪ 行事予定について

⑫ その他

- (1) 令和元年度クールビズについて（環境省のプレスリリース）
- (2) 「ホワイト物流」推進運動への参加企業等を募集する説明会の開催について

(3) 日時 令和 元年 7月 9日（月）午後5時から
場所 ホテルグランテラス富山 会議室
議題

- ① 令和元年7月1日付け人事異動について
- ② 地方運輸局職員採用試験(技術系社会人経験者)の実施について
- ③ 「夏の交通安全県民運動」の実施について
- ④ 北陸自動車道有磯海SA(上り線)における活動(シートベルト着用キャンペーン)の実施について
- ⑤ 2019年度富山県予算に対する要望事項の「回答」について
- ⑥ 第37回「自動車なんでも無料相談」の実施計画(案)について
- ⑦ 「とやま環境フェア2019」への出展について
- ⑧ 令和元年6月の富山県新車新規登録台数等について
- ⑨ 令和元年6月の富山県検査関係業務量について
- ⑩ その他
 - (1) 令和元年地域公共交通優良団体大臣表彰
 - (2) 夏季の省エネルギー対策について
 - (3) みんなできれいにせんまいけ大作戦実施中のチラシ
 - (4) エコドライブとやま推進協議会チラシ

(4) 日時 令和 元年10月 8日（火）午前11時から
場所 富山県自動車会館 研修室
議題

- ① 令和元年10月1日付け人事異動について
- ② 令和元年度陸運関係功労者表彰式について
- ③ 第37回「自動車なんでも無料相談」の実施について
- ④ 「エコライフ車塾」2019の開催について
- ⑤ 富山運輸支局からの連絡等について
 - (1) 「ホワイト物流」推進運動セミナーの開催
 - (2) 旅客自動車運送事業者に対する重点監査
 - (3) 自動車事故対策費補助金の申請
 - (4) 誕生！！自動車整備分野の特定技能外国人！
 - (5) 令和元年9月の富山県新車新規登録台数等
 - (6) 令和元年9月の富山県検査関係業務量

- ⑥ 関係団体の連絡体制（連絡責任者、連絡先等）の変更について
- ⑦ その他
 - (1) 「とやま環境フェア2019」への出展について（報告）
 - (2) 令和元年度クールビズの終期について
 - (3) 「湾クラブ世界総会へ」海岸一斉清掃チラシ

(5) 日時 令和 元年12月11日（金）午後5時から
 場所 ホテルグランテラス富山 会議室
 議題

- ① 令和元年度年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施について
- ② 国家公務員との倫理の保持の遵守について
- ③ 令和元年度自動車関係団体窓口業務打合せ会の開催について
- ④ 第37回「自動車なんでも無料相談」の中止と費用分担について
- ⑤ 「エコライフ車塾」2019の開催結果について
- ⑥ 富山運輸支局からの連絡等について
 - (1) 令和2年における栄典事務の日程について
 - (2) 大型バス速度抑制に補助
 - (3) 平成30年度乗合バス事業の収支状況について
 - (4) ボルトの錆や左後輪に注意！ 車輪脱落事故
 - (5) 自動車整備士PRポスターデザイン入賞作品が決定
 - (6) 水深が床面を超えたら、もう危険！
 - (7) 令和元年11月の富山県新車新規登録台数等
 - (8) 令和元年11月の富山県検査関係業務量
 - (9) 令和元年11月の富山県保有自動車数
- ⑦ その他
 - (1) 軽自動車検査協会富山事務所の人事異動について
 - (2) 今後の事務局代表者会議の開催について

(6) 日時 令和 2年 2月13日（木）午前11時から
 場所 富山県自動車会館研修室
 議題

- ① 令和元年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議の開催結果等について
- ② 令和2年度税制改正大綱及び関係予算（案）について
- ③ 富山運輸支局からの連絡等について
 - (1) 地域交通の未来について考えましょう
 - (2) 令和2年度街頭検査計画の策定について
 - (3) タカタ製エアバックのリコール未回収車両を車検を通さない措

置の拡大について

(4) 乗用車等の衝突被害軽減ブレーキに関する国際基準を導入し、新車を対象とした義務付けを行います。

④富山県内における登録・検査実績等

(1) 令和2年1月の富山県新車新規登録・届出台数

(2) 令和2年1月の富山県継続検査実績

(3) 令和2年1月末の富山県保有自動車数

10. 実務担当者会議

(1) 日 時 令和 元年 6月10日午後4時～

場 所 富山県自動車会館

議 題 ①「第37回自動車なんでも無料相談」開催について
② 開催日、開催場所について
③ 雨天時対応、PR活動・グッズ等の準備等
④ その他

(2) 日 時 令和 元年 8月21日午後4時～

場 所 富山県自動車会館

議 題 ①「第37回自動車なんでも無料相談」開催について
・実施要領について
・「マイカー無料点検」との合同開催について
・「セーフティフェスティバル in 富山」との同日開催について
② 当日の実施細目について
・相談コーナー
・イベント、アトラクション等の内容
・車両の展示・同乗体験
③ その他

(3) 日 時 令和 元年 9月24日午後4時～

場 所 富山県自動車会館

議 題 ① チラシ配布等について
② 各種広報活動について
③ 当日の実施細目について
④ 各機関・団体からの刊行物・リーフレット等の袋詰め作業
日程
⑤ 駐車場所等

1.1. 上部団体の総会・理事会等

(1) 一般社団法人日本自動車会議所

① 第85回定時総会

- 日 時 令和 元年 5月28日(火) 午前11時から
場 所 東京都千代田区大手町1-3-2
経団連会館 経団連ホール
- 議 題 ① 平成30年度事業実績・令和元年度事業計画
② 平成30年度決算・令和元年度予算
③ その他

② 第101回全国自動車会議所専務理事会

- 日 時 令和 元年10月23日(水)～24日(木)
場 所 東京都千代田区紀尾井町3-12
トヨタ紀尾井倶楽部
- 議 題 ① 令和元年度上期 主な事業内容
② 委員会活動状況について
③ 交通安全活動について
④ 自賠償について
⑤ 令和元年度会員研修会開催状況について
⑥ 国内施設視察会について
⑦ 日本自動車会議所HP展開状況について
⑧ 日本自動車会議所職場環境改善活動(ペーパーレス化)
⑨ 今後の取組見直しについて
⑩ 次回以降の専務理事会について(案)
⑪ 各会議所の取組・課題共有
⑫ その他
・叙勲、褒章受章者対象者のご提出について

③ 第102回全国自動車会議所専務理事会

- 日 時 令和 2年 2月 6日(木)～7日(金)
場 所 長野県茅野市北山蓼科4035-949
テラス蓼科リゾート&スパ
- 議 題 ① 日本自動車会議所活動 進捗状況
② 道路・交通委員会概要
③ 交通安全活動について
④ 日本会議所HP・モーターショーの取組状況
⑤ 各会議所の取組・課題共有

⑥ その他

- ・第206回理事会・令和元年度永年勤続者表彰式について
- ・次回以降の専務理事会について
- ・聖光寺のご紹介

(2) 全国自動車検査登録印紙売捌人協議会

① 第59回通常総会

日 時 令和 元年 6月13日(木) 午前11時から

場 所 東京都港区高輪4-10-30
品川プリンスホテル メインタワー

議 題

- ① 平成30年度事業報告(案)並びに収支計算書(案)について
- ② 令和元年度事業計画(案)並びに収支計算書(案)について
- ③ 会費の額及び徴収方法(案)について
- ④ 役員の改選(案)について

1.2. その他の会議・行事・活動等

(1) 定例連絡会議(富山運輸支局主催)

① 日 時 平成31年 4月11日(木) 午後1時30分～

場 所 富山運輸支局 会議室

議 題

(1) 総務・企画関係

- ・当面の主な行事予定
- ・富山運輸支局機構図ほか
- ・人事異動
- ・健康増進法の施行について

(2) 輸送・監査関係

- ・貸切バス会社の安全性についての検索サイト開設について
- ・訪日外国人旅行者と車いす等利用者の貸切バスの確保策について
- ・危険物のバス・タクシー車内への持込みについて
- ・第2種免許制度等の在り方に関する有識者会議提言の概要について

(3) 登録関係

- ・富山県保有自動車数について
- ・年度別新車登録台数について
- ・年度別総業務量件数について
- ・年度別輸出関連登録業務量の推移について

- (4) 整備関係
 - ・平成30年度検査業務量について
- (5) その他
 - ・定例連絡会議名簿（平成31年4月現在）

② 日時 令和元年6月13日（木）午後1時30分～
場所 富山運輸支局 会議室
議題

- (1) 総務・企画関係
 - ・当面の主な行事予定
 - ・表彰式の日程について
- (2) 輸送・監査関係
 - ・荷役作業や附帯業務の記載について
 - ・ホワイト物流推進運動について
 - ・G20大阪サミットに係る交通規制について
- (3) 登録関係
 - ・富山県保有自動車数について
 - ・年度別新車登録台数について
 - ・年度別総業務量件数について
 - ・年度別輸出関連登録業務量の推移について
 - ・軽2輪届出手続きの変更について
- (4) 整備関係
 - ・検査関係業務量について
 - ・自動車アセスメントの評価結果について
 - ・道路運送車両法の一部改正について
- (5) その他
 - ・定例連絡会議名簿（令和元年6月1日現在）

③ 日時 令和元年9月11日（水）午後1時30分～
場所 富山運輸支局 会議室
議題

- (1) 企画調整関係
 - ・とやま環境フェアについて
- (2) 総務・企画関係
 - ・当面の主な行事予定
- (3) 輸送・監査関係
 - ・貸切バス法令遵守状況調査について
 - ・運転者職場環境良好度認証制度について

- (4) 登録関係
 - ・富山県保有自動車数について
 - ・年度別新車登録台数について
 - ・年度別総業務量件数について
 - ・年度別輸出関連登録業務量の推移について
- (5) 整備関係
 - ・検査関係業務量について
 - ・自動車点検整備推進運動強化月間について
 - ・不正改造車を排除する運動強化月間について
 - ・後付け安全運転支援装置の装備拡大等に向けた開発計画について
 - ・点検整備推進運動チラシについて
- (6) その他
 - ・定例連絡会議名簿（令和元年9月1日現在）

④ 日 時 令和 元年11月12日（火）午後1時30分～
 場 所 富山運輸支局 会議室
 議 題

- (1) 総務・企画関係
 - ・当面の主な行事予定
- (2) 輸送・監査関係
 - ・タクシーの事前確定運賃サービスについて
 - ・「ホワイト物流」推進活動の賛同企業について
 - ・中小企業向けITツール活用ガイドブックについて
- (3) 登録関係
 - ・富山県保有自動車数について
 - ・年度別新車登録台数について
 - ・年度別総業務量件数について
 - ・年度別輸出関連登録業務量の推移について
- (4) 整備関係
 - ・検査関係業務量について
 - ・自動車検査証の有効期間の再伸長等について
 - ・タカタ製エアバッグのリコールについて
 - ・後付け急発進等抑制装置の選考個別認定について
 - ・令和元年度前期「自動車アセスメント」について
- (5) その他
 - ・定例連絡会議名簿（令和元年11月1日現在）

⑤ 日 時 令和 2年 1月15日(水)午後1時30分～
場 所 富山運輸支局 会議室
議 題

(1) 総務・企画関係

- ・当面の主な行事予定

(2) 輸送・監査関係

- ・オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の物流に係るお願い
- ・令和元年度Gマーク認定状況について

(3) 登録関係

- ・富山県保有自動車数について
- ・年度別新車登録台数について
- ・年度別総業務量件数について
- ・年度別輸出関連登録業務量の推移について

(4) 整備関係

- ・検査関係業務量について
- ・タカタ製エアバッグについて
- ・サポカー補助金について
- ・交通安全緊急対策に係る車両安全対策の措置方針について
- ・後付け急発進等抑制装置の認定について

(5) その他

- ・定例連絡会議名簿(令和2年1月1日)

⑥ 日 時 令和 2年 3月10日(火)午後1時30分から
場 所 富山運輸支局会議室
〈コロナウイルス対策の為、中止〉

(2) 交通安全関係会議・行事・活動

- 4月24日 富山県交通安全チャレンジ123運動実行委員会
- 5月10日 春の全国交通安全運動における特別行事
- 21日 富山県高速道路交通安全協議会通常総会
- 24日 富山県交通対策協議会幹事会
- 7月24日 夏の交通安全県民運動に伴う自動車点検整備推進運動
- 8月 1日 富山県交通対策協議会幹事会
- 9月 9日 富山県交通安全県民大会
- 26日 秋の全国交通安全運動に伴う自動車点検整備推進活動
- 10月21日 富山県交通対策協議会幹事会

(3) 環境関係会議・行事・活動

- 4月24日 富山県県土美化推進県民会議総会
- 25日 環境に優しい自動車整備事業場等富山県推進協議会委員会
- 6月4日 エコドライブとやま推進協議会
- 26日 とやま環境フェア 2019 実行委員会
- 7月11日 富山県環境審議会地球温暖化対策小委員会
- 8月19日 とやま環境フェア 2019 実行委員会
- 23日 とやま環境フェア 2019 出展者説明会
- 30日 環境とやま県民会議幹事会
- 10月5日 とやま環境フェア 2019 開会式
- // 富山県ごみゼロ推進県民大会
- 6日 とやま環境フェア 2019
- 12月25日 とやま環境フェア 2019 実行委員会

(4) その他の会議・行事・活動

- 4月25日 富山県バス協会監事会
- 5月12日 堂故 茂後援会事務所開き
- 14日 富山県バス協会理事会
- 17日 富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会
合同決起大会及び通常総会
- 22日 富山法人会定時総会・記念講演会
- // 不正改造車両追放連絡協議会定期総会
- 24日 富山県中古自動車販売店協会通常総会
- 29日 富山県自動車整備振興会通常総会
- // 富山県自動車整備振興会正副会長との懇談会
- // 富山県バス協会定時総会
- 30日 富山空港を発展させる会通常総会
- 5月31日 富山間税会通常総会・研修会
- 6月3日 富山県トラック協会運送事業者大会
- 11日 富山県タクシー協会通常総会・表彰式
- // 社会保険事務担当者講習会
- 27日 JAF富山支部運営委員会
- 7月16日 自民党職域支部・友好団体政談演説会
- 17日 全国健康保険協会管掌健康保険及び厚生年金保険被保険者の資格及び
報酬等の調査
- // 年金委員・健康保険委員研修会
- 26日 富山県道路安全・円滑化検討委員会
- 29日 富山県自動車点検整備推進協議会

- 8月26日 富山県道路整備促進協会通常総会
 // 国土交通省との意見交換会
- 9月11日 税制改正に関する勉強会
 17日 社会保険事務担当者講習会
 18日 自民党富山県連政務調査会5部会
- 10月16日 年金委員・健康保険委員研修会
 28日 北苑会・北盛会・東新会・富山間税会共催経済講演会
- 11月2日 親和会解散式並びに懇親会
 6日 陸運関係功労者等表彰式
 7日 富山県中古自動車査定士技能コンテスト閉会式・表彰式
 20日 富山県OSS導入準備会兼富山県OSS地域連絡会
 22日 富山法人会四支部合同研修会
 // JAF富山支部運営委員会・50周年セミナー
 27日 年末調整説明会
- 12月24日 富山県軽自動車関係団体連絡会

13. 刊行物等の作成及び配布

- | | | |
|-----------------------------------|------------|------|
| ① 富山県自動車関係団体役職員録 | | 400冊 |
| ② 自動車会議所ニュース | 毎月 | 50冊 |
| ③ 日本の自動車工業2019 | | 30冊 |
| ④ 便利だね！お得だね！富山きときと空港 | | 50部 |
| ⑤ 不正改造は犯罪です！ | チラシ・リーフレット | 80枚 |
| | マニュアル | 30冊 |
| ⑥ 経済センサス基礎調査 | チラシ・リーフレット | 50枚 |
| ⑦ みんなできれいにせんまいけ | チラシ | 50枚 |
| ⑧ クルマだって生きているんだ。 | チラシ | 30枚 |
| ⑨ 火災・車輪脱落、車体腐食防止のためにしっかり点検整備しましょう | チラシ | 30枚 |
| ⑩ 自動車の税が大きく変わります | リーフレット | 500枚 |
| ⑪ エコドライブにレッツ チャレンジ！ | チラシ | 50枚 |
| ⑫ 自動車の検査・登録はお早めに！ | チラシ | 100枚 |